

# H19年漁期のあかいか（ソデイカ）漁業について

今漁期(H19年漁期)のあかいか(ソデイカ)漁業について取りまとめましたのでお知らせします。

## 1 平成19年漁期の漁況

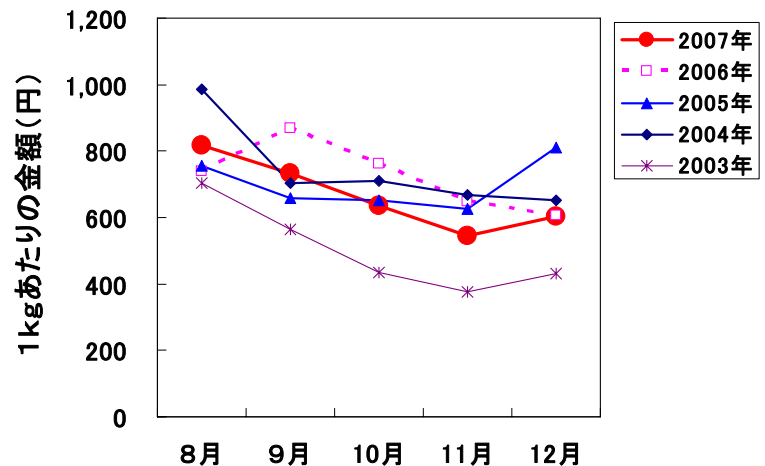
### 【兵庫県下各漁協(支所)の漁獲】

平成19年(2007年)の漁獲量(速報値)は、津居山港30ト(2006年は28ト)、竹野浜34ト(同34ト)、柴山港19ト(同21ト)、香住町98ト(同81ト)、浜坂町53ト(同39ト)、**合計235ト**(同204ト)であり、**前年と比べて約15%の増加**となりました。

## 2 価格の推移

近年の月別単価の推移は右のグラフのとおりで、毎年、8-9月には単価が高く、10-11月には徐々に低下します。今漁期は、10月までは平均で1kgあたり600円を上回っていましたが、11月には500円台となりました。

また、県下全域の漁獲高(速報値)は合計約1億4800万円であり、**前年と比べて約6%の増加**となりました。



あかいか平均単価の推移(但馬全体)

## 3 漁況予報の結果(的中したかどうか)

当センターでは、毎年7月に「あかいか(ソデイカ)長期漁況予報文」を公表しています。また、今漁期については、10月に中短期予報を発表しました。予報とその結果については以下のとおりでした。

### 【長期予報(7/19発表)】

- ① **来遊水準**: 来遊資源量(9~11月の平均1日1隻あたり漁獲量)は前年を「上回る」  
結果: → ○: 前年を上回りました。(前年漁期は平均80kg、今漁期は平均107kg)
- ② **平均漁獲量**: 予報期間中の1日1隻あたりの漁獲量はおよそ94~114kg程度となる見込み  
結果: → ○: 「107kg」と予報の範囲内
- ③ **漁場**: 兵庫~鳥取県沖に冷水渦(うず)が形成される可能性があり、その場合は漁場が比較的岸よりに形成される。  
結果: → ○: 10月には冷水渦が山陰沖に張り出し、主漁場が岸よりとなりました。

### 【中短期予報(10/1発表)】

- ① **漁獲物**: (漁期前半は胴長60-65cm(体重8-10kg)の大型が主体であったが)、漁期後半は別の群(9月末で胴長40-45cm)が主体となる。  
結果: → ○: 10月以降は小型が主体となり、特に11月中旬以降はさらに小型の群が加入しました(別紙の市場調査の体長組成をご参照ください)
- ② **漁場**: 好漁場の範囲は、10月に縮小する(沿岸寄りに狭くなる)。  
結果: → ○: 10月には冷水渦が山陰沖に張り出し、主漁場が岸よりとなりました。ただし、11月には冷水の範囲は北西方向に縮小し、好漁場の範囲はやや沖合部にまで拡大しました。

\* 今後も、より精度の高い漁況予測を発表していく予定です。引き続きご協力のほどお願いいたします。

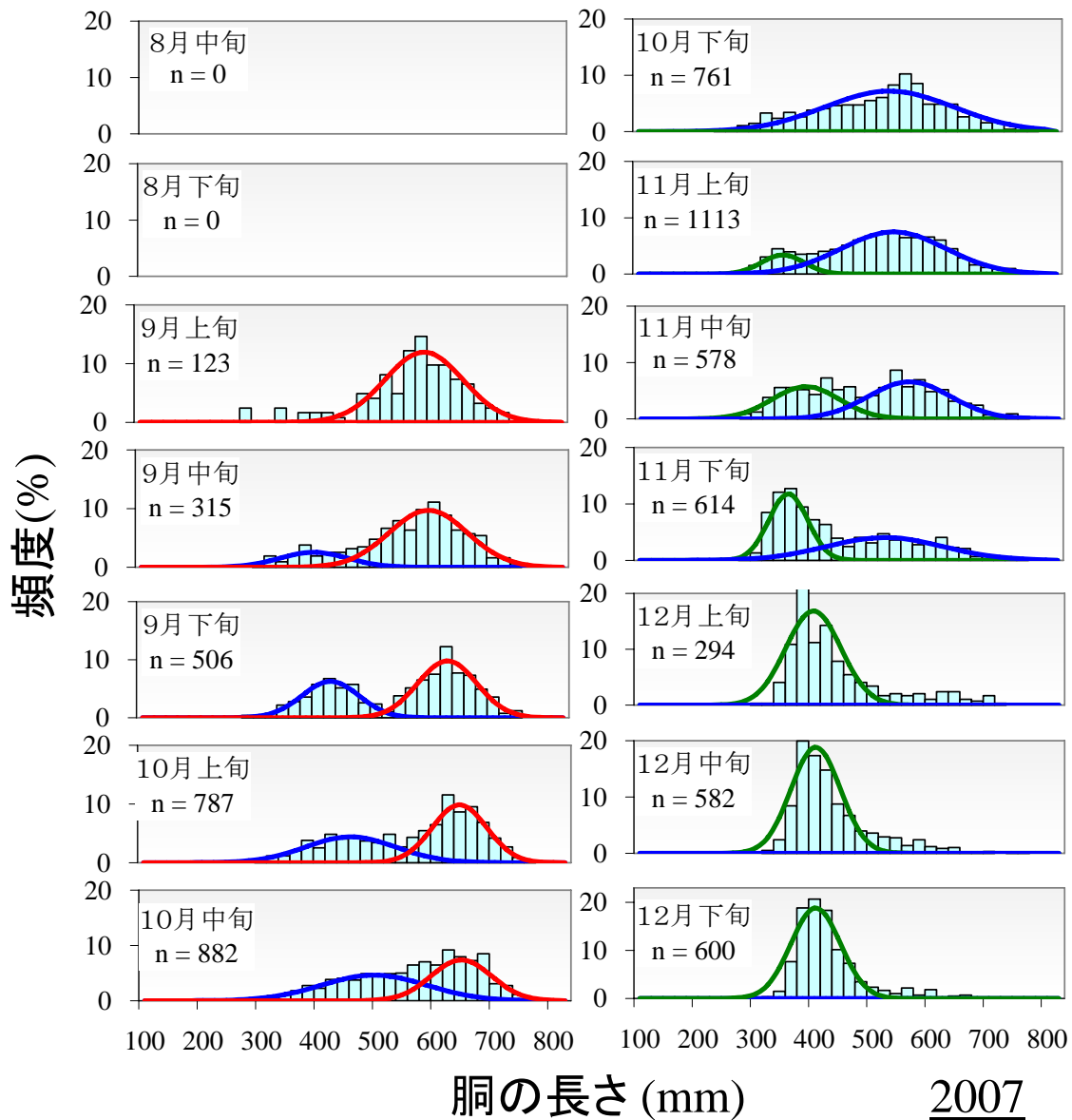


図: JF 但馬漁協香住支所に水揚げされたあかいか(ソデイカ)の体長組成

\* 体長は、胴の長さで示してあります。nはその旬に測定したイカの数を示します。

\* なお、胴の長さを体重に換算すると、概ね次のとおりとなります。

30cm=1.0kg、40cm=2.4kg、50cm=4.7kg、60cm=8.0kg、70cm=12.7kg、80cm=19.0kg